

第91期  
中間報告書

平成27年4月1日 ▶ 平成27年9月30日

## 目次

株主の皆様へ	1
トピックス	3
連結財務諸表の要旨	7
業績等(連結)の推移	8
株主メモ	9
会社概要等	10

しんにってつすみきん

新日鐵住金株式会社

証券コード：5401

# 株主の皆様へ



代表取締役社長 **進藤 孝生**

株主の皆様の日頃の御理解・御支援に、心よりお礼申しあげます。  
製鉄事業を取り巻く環境は、足下の海外市場において中国の減速傾向が鮮明になるなど、極めて厳しい状況となっております。こうした環境下、当社は、平成27年3月に公表した中期経営計画を推進し、「技術力」「コスト競争力」「グローバル対応力」を進化させ、揺るぎない『総合力世界No.1の鉄鋼メーカー』の実現を目指しております。

## (当上半期の事業・決算の概況)

平成27年度上半期（本年4月1日から9月30日まで）の事業の概況につきまして、御報告申しあげます。  
当上半期の世界経済については、米国は引き続き堅調を維持し、欧州は景気の緩やかな回復が続いており、全体としては緩やかな成長が続きましたが、中国経済の減速感が強まり、アセアン諸国の景気回復も鈍化しており、先行き不透明感が増しています。

日本経済については、個人消費は総じて底堅かったものの、経済の回復基調は緩慢なものに留まりました。

国内鉄鋼市場は、建築分野における住宅向けに持ち直しの動きが見られましたが、自動車分野等の在庫調整の遅れにより、弱含みで推移しました。

海外鉄鋼市場については、中国の減速傾向が鮮明になり、その影響を受けてアセアン諸国の回復が遅れました。加えて、原油市況の低迷によりエネルギー分野の活動が急速に減少しました。国際市況については、主原料価格の低下に加え、中国鉄鋼メーカーの供給圧力が依然強く、夏場以降、大幅な下落となりました。

こうした状況下、当上半期の連結業績につきましては、売上高は2兆5,075億円、営業利益は983億円、経常利益は1,298億円となりました。また、関係会社株式売却益や受取和解金等が特別損益に計上されたことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,201億円となりました。

当社は、昨年9月に発生した名古屋製鐵所コークス火災事故について、再発防止対策を完了し、事故発生以降休止しておりました同製鐵所の関連設備の操業を本年10月19日から順次再開致しました。当社は、昨年の停電事故を含めた一連の事故を真摯に反省し、全社をあげて、安全・安定操業に取り組んでまいります。

### **(当第2四半期末の剰余金の配当)**

当第2四半期末の剰余金の配当につきましては、本報告書9頁に記載の基本方針に従い、第1四半期決算発表時(平成27年7月29日)に公表致しましたとおり、1株につき3円(注)とさせていただきますことと致しました(連結配当性向22.9%)。

(注) 平成27年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施しておりますが、当第2四半期末の剰余金の配当は、株式併合前の株式数に応じて支払われます。

### **(今後の見通し)**

世界経済については、米国は引き続き堅調を維持し、欧州は緩やかな景気回復が見込まれるものの、中国やアセアン諸国等が先行き不透明な状況になっております。

日本経済については、堅調な個人消費や設備投資の持ち直しにより、緩やかに回復に向かっていくと見込まれます。

平成27年度下半期については、国内鉄鋼市場は、公共投資や自動車生産の増加により、生産・出荷の回復が見込まれるものの、海外鉄鋼市場においては、中国鉄鋼メーカーによる過剰生産と輸出拡大、それに伴う海外市況の悪化と各国の通商法措置の影響が懸念されるなど、足下の極めて厳しい状況が継続することが想定されます。

平成27年度通期については、海外鉄鋼市場における上記の極めて厳しい状況に加え、エネルギー向け鋼材需要の低迷影響も大きく、当社としては、最大限の経営努力を継続するものの、連結経常利益は第1四半期決算発表時(平成27年7月29日)に公表した3,700億円から1,200億円減益の2,500億円となる見通しです。

また、期末の配当方針につきましては、第3四半期決算発表時に、年度見通しの当期利益を踏まえて判断し、公表する予定です。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ、以上の諸事情を御賢察のうえ、今後とも御理解と御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

# トピックス

当上半期における各事業の活動状況を御紹介致します。

## 製鉄事業

中期経営計画で掲げた諸施策の推進状況を御報告致します。

### ■ グローバル戦略の推進



#### ① 北米での自動車用高成形性超ハイテンの製造対策推進

当社は米国の合弁会社AM/NSカルバート社で、平成28年末を目途に、高い成形性と強度を併せ持つ自動車用高成形性超ハイテンの製造対策を実施します。

今回の対策で、現在当社が日本だけで製造している高成形性超ハイテンを初めて海外で製造することが可能になります。これにより、自動車用高級鋼板のグローバル供給体制の拡充を図ってまいります。



AM/NSカルバート社の熱延ライン

#### ② インドネシア自動車用鋼板製造・販売会社(KNSS社)が起工式実施

当社とクラカタウ社がインドネシアに設立した合弁会社KNSS社は、本年8月25日に起工式を執り行いました。

今後、さらなる伸長が期待されるインドネシア自動車メーカーのニーズに応えてまいります。



起工式の様子

### ③中国自動車用鋼板製造・販売会社(BNA社)が溶融亜鉛めっき鋼板製造設備を新規稼働

当社と宝山鋼鉄の合併会社であるBNA社が、中国における自動車用亜鉛めっき鋼板の需要に対応するため、第4溶融亜鉛めっきラインを本年9月15日に新規稼働しました。



第4溶融亜鉛めっきラインの建屋と  
同ラインの第1号製品

### ■ 技術先進性の発揮

#### 環境負荷低減型超ハイテン橋梁ケーブル用鋼線材の開発で 市村産業賞「本賞」を受賞

当社は、「環境負荷低減型超ハイテン橋梁ケーブル用鋼線材」の開発で、第47回（平成26年度）市村産業賞「本賞」を受賞しました。同賞は優れた国産技術の開発で産業分野の発展に貢献・功績のあった技術開発者を表彰する伝統と権威ある賞です。当社が「本賞」を受賞するのは、今回が2回目です。



本開発技術が採用されたトルコ・イズミット湾横断橋  
(平成28年開通予定) (画像提供: 株式会社HIインフラシステム)

#### 鉄道車両用操舵台車の発明で全国発明表彰「発明賞」を受賞

当社は、東京地下鉄(株)と共同開発した鉄道車両用操舵台車の発明で平成27年度全国発明表彰「発明賞」を受賞しました。同賞は発明の奨励・育成を図り、わが国の科学技術の向上と産業の発展に寄与することを目的として行われている伝統と権威のある賞です。



本発明技術が採用された東京メトロ銀座線1000系車両  
(画像提供: 東京地下鉄(株))

#### チタン箔がトヨタ自動車MIRAIに採用

当社は、燃料電池内の基幹部品における腐食環境に対して優れた耐食性を有する特殊圧延チタン箔の製造方法を開発し、トヨタ自動車(株)の燃料電池自動車「MIRAI」の燃料電池部品に採用されました。

今回の「MIRAI」への採用により、将来を期待される水素社会の一翼を担う先進性の高い事業分野への進出を加速するなど、今後ともチタン製品の新たな需要分野を開拓し、適用拡大を進めていきます。



トヨタ自動車燃料電池車「MIRAI」  
(画像提供: トヨタ自動車(株))

## 石炭を積載する貨物倉の腐食を大幅に低減する高耐食性厚鋼板「NSGP<sup>®</sup>-3」が実船に初適用

当社が開発した、石炭を積載する貨物倉の腐食を大幅に低減する画期的な高耐食性厚鋼板「NSGP<sup>®</sup>-3」が、今治造船(株)グループの多度津造船(株)で建造されたばら積み貨物船に採用されました。今回が同鋼板の実船初適用となります。



NSGP<sup>®</sup>-3初適用船  
「PLAINPALAIS」(載貨重量トン数81,600t)  
(画像提供:今治造船(株))

## 国内マザーミルの競争力強化

### 鹿島製鐵所コークス炉のリフレッシュ対策

当社は、鹿島製鐵所コークス炉<sup>(\*)</sup>リフレッシュ対策の一環として、コークス炉の増設を決定しました。同製鐵所のコークス炉は、多くが稼働後40年以上経過しており、今回のリフレッシュ対策により、生産能力を回復させ、コスト競争力の向上を目指します。

\* コークス炉は、高炉で効率的に銑鉄をつくれるよう原料の石炭を蒸し焼きにするなどの前処理を行う設備

<鹿島製鐵所コークス炉リフレッシュ対策の概要>

コークス生産能力	58万トン/年
稼働時期	平成30年4月予定
投資額	約310億円



コークス炉断面図

## 製鉄事業グループ各社の体質強化

### 日鉄住金テックスエンジ(株)及び鈴木金属工業(株)の完全子会社化

日鉄住金テックスエンジ(株)は、平成27年8月1日付で、鈴木金属工業(株)は、平成27年9月1日付で、当社との間で株式交換をすることにより当社の完全子会社となりました。今回の組織再編により、当社グループにおける事業戦略の一層の共有化と収益力・競争力のさらなる強化を進めてまいります。なお、鈴木金属工業(株)は平成27年10月1日をもって、日鉄住金SGワイヤ(株)に商号変更しております。

## エンジニアリング事業

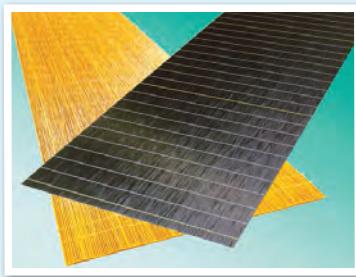
新日鉄住金エンジニアリング(株)は、大型物流施設の建設工事に積極的に取り組んでおり、受注実績は直近10年で約190万㎡に上ります。今後も鋼構造エンジニアリング力と鉄の知見を活かした商品・技術の提供を行ってまいります。



IKインベストメント・スリー社から受注した  
「新木場物流センター（平成27年9月竣工）」

## 新素材事業

新日鉄住金マテリアルズ(株)は、炭素繊維シートによるコンクリート・鋼構造物の補修・補強工法の開発により、橋や高速道路等の公共インフラ構造物、民間港湾や工場の補修・補強整備に貢献しています。



次世代の補修補強用部材（ストランドシート®）

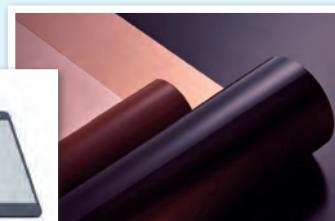
補修補強用部材（トウシート®）の適用事例  
（コンクリート構造物の補強用材料として使用されています）

## 化学事業

新日鉄住金化学(株)は、スマートフォン等の電子デバイス向けの旺盛な需要により、回路基板材料の販売が、6月・7月と相次いで月間販売記録を更新するなど、好調に推移しました。



スマートフォンの分解イメージ  
（橙色部分にエスパネックス®が使用されています）



回路基板材料「エスパネックス®」

## システムソリューション事業

新日鉄住金ソリューションズ(株)は、北九州に拠点を構えてクラウド型インフラサービス「absonne（アブソンヌ）」の提供を開始しました。東京地区との東西2拠点による、利便性と信頼性を高めたインフラサービスを展開しています。



absonneサービス拠点を設置した「北九州データセンター」

# 連結財務諸表の要旨

## ■ 連結貸借対照表

(単位：億円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成27年9月30日現在)
<b>資産の部</b>	
流動資産	21,863
固定資産	45,718
<b>資産合計</b>	<b>67,582</b>
<b>負債の部</b>	
流動負債	15,935
固定負債	20,048
<b>負債合計</b>	<b>35,983</b>
<b>純資産の部</b>	
株主資本	25,970
その他の包括利益累計額	3,237
非支配株主持分	2,389
<b>純資産合計</b>	<b>31,598</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>67,582</b>

## ■ 連結損益計算書

(単位：億円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)
<b>売上高</b>	<b>25,075</b>
売上原価	21,772
<b>売上総利益</b>	<b>3,303</b>
販売費及び一般管理費	2,319
<b>営業利益</b>	<b>983</b>
営業外収益	664
営業外費用	350
<b>経常利益</b>	<b>1,298</b>
<b>特別利益</b>	<b>634</b>
<b>特別損失</b>	<b>158</b>
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>1,774</b>
法人税等	512
<b>四半期純利益</b>	<b>1,261</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	60
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>1,201</b>

## ■ セグメント情報 (平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)

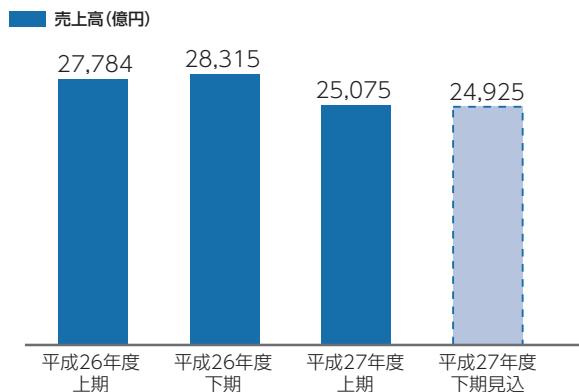
(単位：億円)

	報告セグメント					合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	製鉄	エンジニア リング	化学	新素材	システム ソリューション			
売上高	22,025	1,402	1,013	178	1,062	25,681	△606	25,075
セグメント利益	1,107	21	31	16	101	1,278	20	1,298

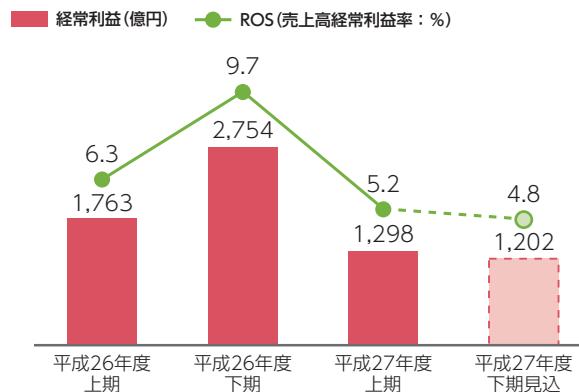
※金額については、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

# 業績等(連結)の推移

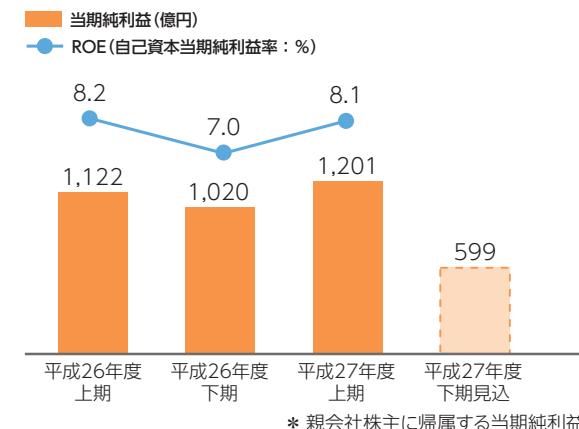
## 売上高



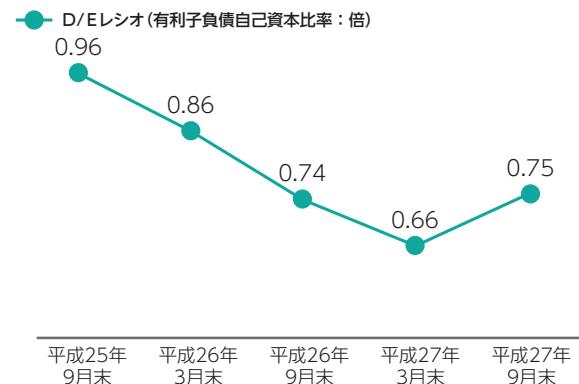
## 経常利益



## 当期純利益\*



## D/Eレシオ



### <平成27年度通期業績見通し>

平成27年度通期については、中国鉄鋼メーカーによる過剰生産と輸出拡大、それに伴う海外市況の悪化と各国の通商法措置の影響が懸念されるなど、極めて厳しい状況が継続することに加え、エネルギー向け鋼材需要の低迷影響も大きく、当社としては、最大限の経営努力を継続するものの、連結経常利益は第1四半期決算発表時(平成27年7月29日)に公表した3,700億円から1,200億円減益の2,500億円となる見通しです。

# 株主メモ

## 単元株式数の変更及び株式の併合について

当社は、平成27年10月1日をもって単元株式数の変更（1,000株から100株に変更）と株式の併合（10株を1株に併合）を実施致しました。

## 配当の基本方針について

当社は、業績に応じた利益の配分を基本として、企業価値向上に向けた投資等に必要な資金所要、先行きの業績見通し、連結及び単独の財務体質等を勘案しつつ、第2四半期末及び期末の剰余金の配当を実施する方針と致しております。「業績に応じた利益の配分」の指標としては、連結配当性向年間20～30%を目安と致します。なお、第2四半期末の剰余金の配当は、中間期業績及び年度業績見通しを踏まえて判断することとしております。

## 株主優待について

当社は、株主の皆様の御支援に感謝するとともに、当社グループの活動に関する御理解をより深めていただくこと等を目的として株主優待制度を導入しております。

詳細につきましては、対象の株主様に御案内申し上げます。

## 見学会・説明会

項目	内容	案内回数 (実施時期)	案内対象
工場見学会 への招待 (抽選)	製鉄所、製造所の見学に招待致します。	年2回御案内 (3～4月頃、 10～11月頃)	毎年3月末・9月末において <b>1,000株以上保有の株主様</b> なお、平成28年3～5月の工場見学会及び 同年2月の経営概況説明会については、株式 併合前の平成27年9月末において10,000株以上 保有の株主様を対象と致します。
経営概況説明会 への招待 (抽選)	東京・大阪をはじめ、各地で開催致します。	年2回御案内 (7～9月頃、 2～3月頃)	

## 各種優待

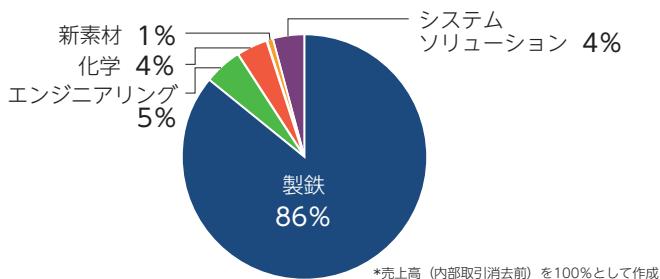
項目	内容	案内回数 (実施時期)	案内対象
当社カレンダーの 送付	当社カレンダーを送付致します。	年1回御送付 (11月下旬～ 12月初旬)	毎年9月末において <b>500株以上保有の株主様</b> なお、平成27年11月下旬～12月初旬に御送付 する当社カレンダーについては、株式併合前の 平成27年9月末において5,000株以上保有の 株主様を対象と致します。
鹿島アントラーズ 観戦招待 (抽選)	J1リーグ戦（ホームゲーム又はアウェイ ゲーム）に招待致します。	年2回御案内 (4～8月頃、 8～12月頃)	毎年3月末・9月末において <b>5,000株以上保有の株主様</b> なお、平成28年4～8月頃の鹿島アントラーズ 観戦及び平成28年3～7月頃の紀尾井ホール 演奏会については、株式併合前の平成27年 9月末において50,000株以上保有の株主様を 対象と致します。
紀尾井ホール演奏会 への招待 (抽選)	「紀尾井シンフォニエツタ東京」の定期演奏会 をはじめとした各種演奏会に招待致します。	年2回御案内 (3～7月頃、 9～2月頃)	

# 会社概要等

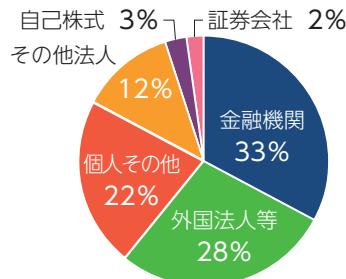
## 会社概要

商号	新日鐵住金株式会社 (NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION)
本店所在地	東京都千代田区丸の内二丁目6番1号
資本金	4,195億円
事業内容	製鉄、エンジニアリング、化学、新素材、システムソリューションの各事業
従業員数（連結）	84,447人（平成27年3月31日現在）
上場証券取引所	東京、名古屋、福岡、札幌
証券コード	5401
発行可能株式総数	2,000,000,000株（平成27年10月1日現在）
発行済株式の総数	950,321,402株（平成27年10月1日現在）
株主数	523,120人（平成27年9月30日現在）

## 事業別売上高構成比（平成27年度上半期実績）



## 株主構成別持株比率（平成27年9月30日現在）



## 大株主の状況（平成27年9月30日現在）

氏名又は名称	持株数（千株）	持株比率（%）
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	370,268	3.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	308,389	3.2
日本生命相互会社	245,324	2.6
住友商事株式会社	182,690	1.9
株式会社みずほ銀行	162,998	1.7
株式会社三井住友銀行	146,470	1.5
明治安田生命保険相互会社	139,607	1.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	136,554	1.4
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10	125,962	1.3
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	115,593	1.2
計	1,933,860	20.3

# 新日鐵住金グループ企業理念

## 基本理念

新日鐵住金グループは、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、優れた製品・サービスの提供を通じて、社会の発展に貢献します。

## 経営理念

1. 信用・信頼を大切にするグループであり続けます。
2. 社会に役立つ製品・サービスを提供し、お客様とともに発展します。
3. 常に世界最高の技術とものづくりの力を追求します。
4. 変化を先取りし、自らの変革に努め、さらなる進歩を目指して挑戦します。
5. 人を育て活かし、活力溢れるグループを築きます。

## 株式事務の取扱いについて

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
定時株主総会の基準日	3月31日
剰余金の配当の基準日	3月31日、9月30日及びその他取締役会が定める日
単元株式数	100株（平成27年10月1日より100株に変更致しました。）
電子公告を掲載するウェブサイト	<a href="http://www.nssmc.com/">http://www.nssmc.com/</a>
定款及び株主取扱規程	当社ウェブサイトの「株主・投資家情報」に掲載しています。
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
株主名簿管理人事務取扱所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 （郵便物送付先） 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 （電話照会先） 当社株主様専用ダイヤル 0120-785-401（フリーダイヤル） 株主名簿管理人代表電話 0120-782-031（フリーダイヤル）

### ●住所変更、単元未満株式の買取り・買増しのお申出先

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### ●未払配当金の支払い

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### ●単元未満株式の買取り・買増しに係る手数料

別途定める金額（当社ウェブサイトの「株主・投資家情報」に掲載していますので御参照ください。）

## 新日鐵住金株式会社

〒100-8071 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号

TEL:03-6867-4111(代表)

ウェブサイト：<http://www.nssmc.com/>



環境に優しい「植物油インキ」を使用しています。

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。